

2017 年度～2019 年度までの試験問題（解答なし）

○2017 年度出題問題

テーマⅠ：土質試験に関する自己の取組み姿勢（A4 用紙 40 字×40 行：0.5～1 枚）

記述内容には以下のことを記述すること。

①どのような取組(マネジメント、試験結果に対する品質改善方法)で業務を行っているか。

②後輩指導にあたって、どのようなことに注力し育成をはかっているか。

③組織の構築に対して、どのような課題点があり、それをどのように改善しようとしているか。

④技術者の資質向上に関する日々どのような努力を行っているか記述すること。

テーマⅡ：技術者倫理について（A4 用紙 40 字×40 行：0.5 枚程度）

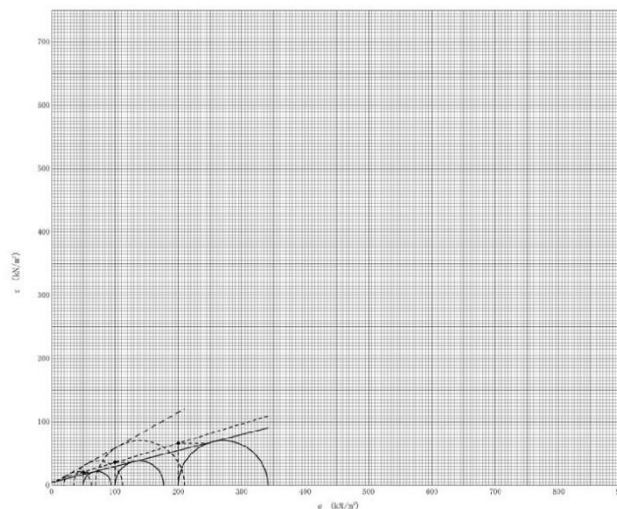
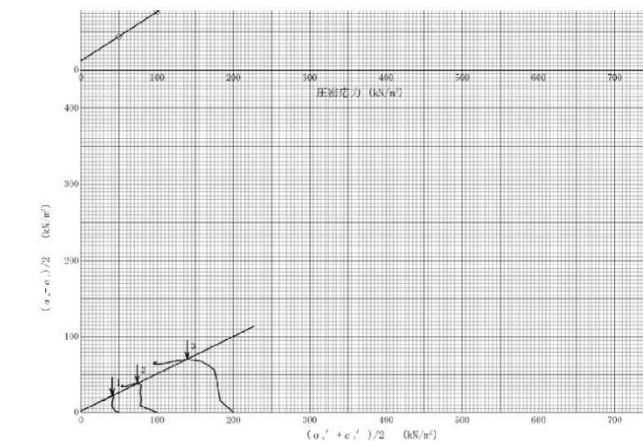
発注先からのクレームが発生した業務の具体的事例(その処理の中に理不尽な修正要求があったとの想定)の仕方について記述すること。

また、事例がない場合には、仮定の事例をあげて、上記に対して記述すること

テーマⅢ：実技試験（A4 用紙 40 字×40 行：0.5 枚程度）

ある現場の三軸 CU 試験結果が下記のように得られている。この結果に対する評価を行う。

下記の試験結果に対する問題点をあげて、その対処の仕方を具体的に記述すること



○2018 年度出題問題

テーマⅠ：土質試験に関する自己の取組み姿勢（A4 用紙 40 字×40 行：0.5～1 枚程度）

- ①どのような取組(マネージメント、試験結果に対する品質改善方法)で業務を行っているか。
- ②後輩指導にあたって、どのようなことに注力し育成をはかっているか。
- ③組織の構築に対して、どのような課題点があり、それをどのように改善しようとしているか。
- ④技術者の資質向上に関する日々どのような努力を行っているか記述すること。

テーマⅡ：技術者倫理に関する論文（A4 用紙 40 字×40 行：1 枚程度）

発注先からのクレームが発生した業務の具体的事例(その処理の中に理不尽な修正要求があったとの想定)の仕方について記述すること。

また、事例がない場合には、仮定の事例をあげて、上記に対して記述すること程度

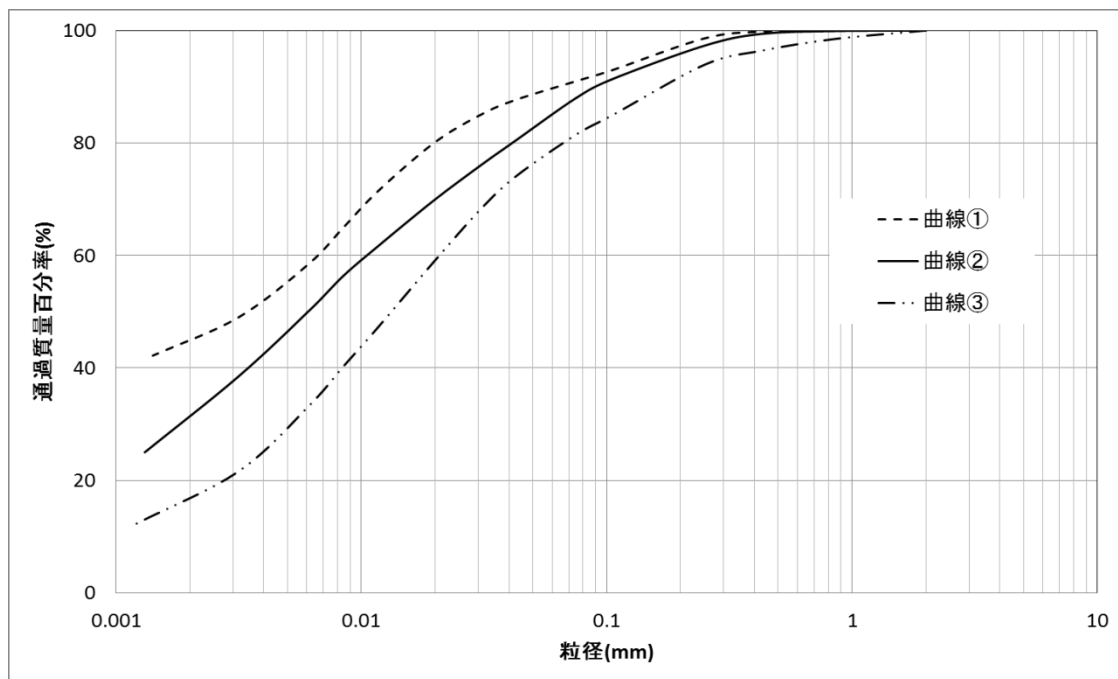
テーマⅢ：実技試験（A4 用紙 40 字×40 行：1 枚程度）

3 本の粒径加積曲線は同一試料を 3 機関で実施したものである。以下の問いについて述べよ。

（試料の物理的性質：土粒子の密度 2.658g/cm^3 、液性限界 59.8%、塑性限界 22.8%）

※フルイ、特に沈降分析の原理を含めた記述とすること。

- ① 3 本の粒径加積曲線の相違点
- ② 相違点が発生した原因
- ③ 原因を除去するための対策



○2019 年度出題問題

テーマⅠ：土質試験に関する自己の取組み姿勢（A4用紙 40 字×40 行：1 枚程度）

- ①どのような取組(マネジメント、試験結果に対する品質改善方法)で業務を行っているか。
- ②後輩指導にあたって、どのようなことに注力し育成をはかっているか。
- ③組織の構築に対して、どのような課題点があり、それをどのように改善しようとしているか。
- ④技術者の資質向上に関する日々どのような努力を行っているか記述すること。

テーマⅡ：技術者倫理に関する論文（A4用紙 40 字×40 行：1 枚程度）

発注先からのクレームが発生した業務の具体的事例(その処理の中に理不尽な修正要求があったとの想定)の仕方について記述すること。

また、事例がない場合には、仮定の事例をあげて、上記に対して記述すること。

テーマⅢ：実技試験（A4用紙 40 字×40 行：1 枚程度）

右図は極めて均質と考えられる粘土を用い、3 つの独立した機関で液性限界試験を行った結果である。No.1, No.2, No.3 のような試験結果が得られた。

これらの結果に対して、以下の設問にあなたの意見を述べよ。

- ① コンシステンシー限界に影響する因子を 3 つ以上列挙せよ。
- ② No.1, No.2, No.3 の結果に差異を発生させたと考えられる原因を 3 つ挙げよ。
- ③ それら 3 つの原因を除去する方法をそれぞれ挙げよ。

